

環境生命科学研究科博士前期課程・博士後期課程
研究科横断 Flex BMD コースについて

【コースの概要】

自然科学研究科と環境生命科学研究科では、多様に変化する社会的ニーズに応えうる専門知識と能力を、より早く、より深く、より広く、フレックスに学ぶことができる研究科横断 Flex BMD コースを 2017 年度 10 月から開始しました。

大学院の各講座で設定した基準をクリアした方のみが履修できる特別なコースです。環境生命科学研究科に入学が決定した方であれば、他大学出身の方もコース履修が可能です。

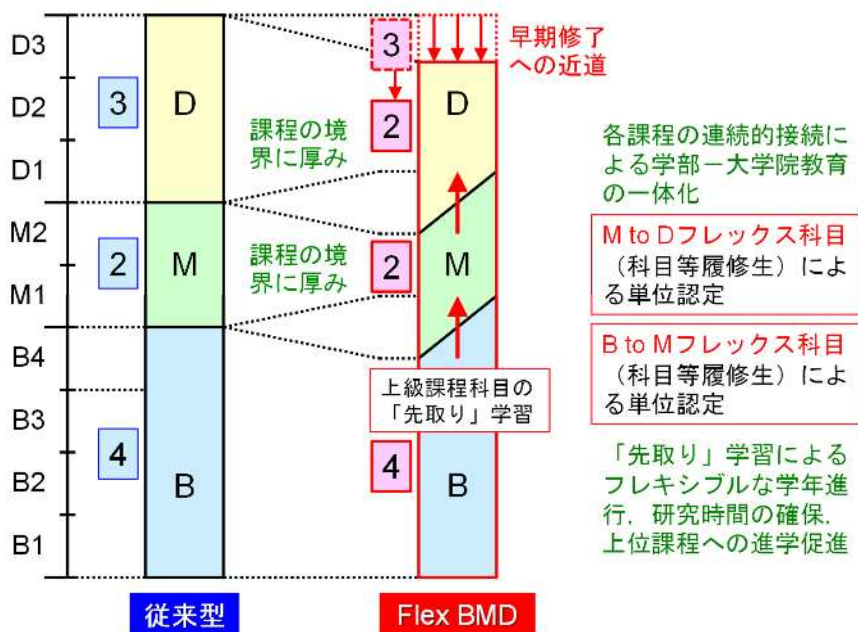
コース生には様々なメリットがあります（別途紹介します）。皆さん積極的に手を挙げてください。

[Flex BMD コースが提供する学びの 3 つのフレキシビリティ]

(1) フレックスな学びの時間

一段上の教育課程（学士課程学生なら博士前期課程，博士前期課程学生なら博士後期課程）で開講されている講義を，課程の枠を超えてフレックスに履修できます。これにより本コースで「先取り」した単位は上級課程進学後に課程修了要件に算入できるため，上級課程への進学後に余裕をもって研究に専念することができます。博士前期課程へ入学する場合，入学前に「先取り」可能な単位は，卒業研究に支障がないように 6 単位を上限にしています。また，博士後期課程に進学する場合は 4 単位まで先取り可能です。

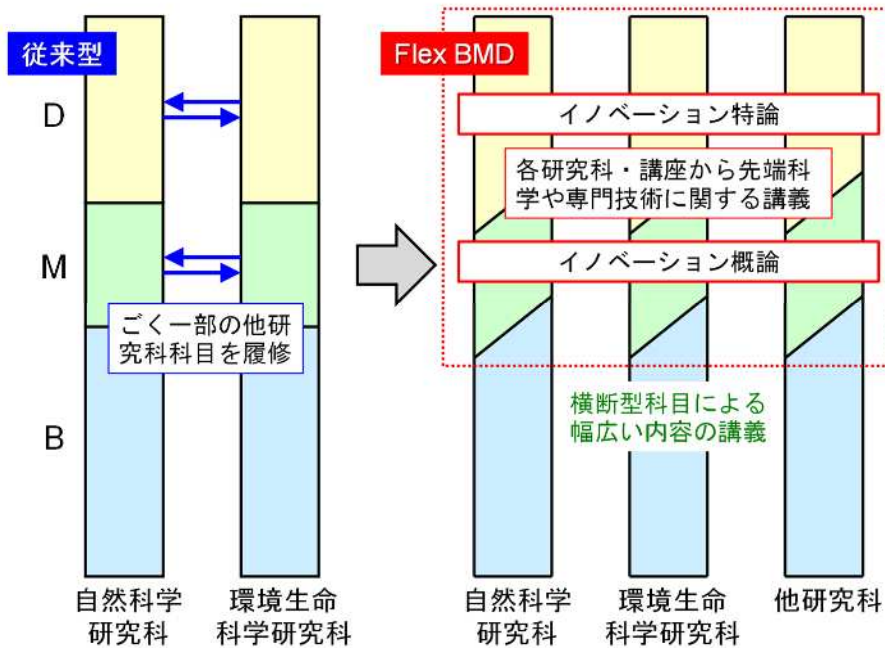
(1)フレックスな学びの時間：上級課程の授業を「先取り」



(2) フレックスな学びの分野

自分が所属する講座，専攻，研究科の講義を履修し，専門分野の知識を深めることも重要ですが，他分野の先端科学や専門技術に関する講義や Flex BMD コースが提供する分野横断型科目を履修することで視野が広がります。本コースでは，現代社会のニーズに即したイノベーション科目，実践型科目，知的財産科目等を設定しています。

(2)フレックスな学びの分野：分野横断型科目により広がる視野



(3) フレックスな学びの場所

国際学会における発表や国内外のインターンシップなどの実践的活動をもって、研究科の単位として認定します。「グローバル実践科目」では国際学会における発表や国外における実践的活動について、また「学外実践科目」では国内における実践的活動を単位認定します。

(3)フレックスな学びの場所：学会発表やインターンシップ^oを単位化

■ グローバル実践科目：博士前期課程は2単位，博士後期課程は3単位を上限

授業科目名	単位数	対象
グローバル・プレゼンテーションA	1単位	国外開催の国際学会における発表
グローバル・プレゼンテーションB	1単位	国内開催の国際学会における発表
インターナショナル・インターンシップ（短期）	1単位	国外における実践的活動
インターナショナル・インターンシップ（長期）	2単位	国外における実践的活動

■ 学外実践科目：いずれの課程も2単位を上限

授業科目名	単位数	対象
インターンシップ（短期）	1単位	国内における実践的活動
インターンシップ（長期）	2単位	国内における実践的活動
プレゼンテーション	1単位	国内開催の学会における発表

● インターンシップの対象：国内外の大学・研究所等の研究機関，または企業・団体等における実践的活動

【コース生のメリット】

- ・入学・進学前において大学院の講義科目（フレックス科目）を履修することができ、入学・進学後の学修（専修免許取得を含みます）に時間的な余裕ができます。
- ・コース生は入学・進学前において、博士前期課程においては6単位を上限に、博士後期課程においては4単位を上限に大学院の講義科目（フレックス科目）を履修することができ、入学・進学後は評語「A+～C」の評点による単位認定を行います。（コース生でなくても科目等履修生として大学院の講義科目を履修することはできますが、入学・進学後の評語は「認定」となり評点は付きません。）
- ・大学院へ入学・進学後、優れた研究業績をあげたコース生に対して、博士前期課程修了時に報奨金を支給します。なお、博士後期課程修了時に報奨金を支給するかについては、今後、検討予定です。
- ・就職採用試験に応募するコース生に研究科長名の推薦書を発行します。
- ・採用枠が定められた奨学金や表彰制度等に対して、コース生優先枠を設けることがあります。
- ・日本学生支援機構から第一種奨学金の貸与を受けたコース生については、「特に優れた業績による返還免除候補者」の業績の評価において、一定の配慮を行います。

【コース生の選抜方法等】

〔博士前期課程〕

コース生は、4月入学博士前期課程推薦入試及び一般入試（第1回募集）の出願時に「コース履修希望届」を提出した方を対象に選抜します。コース生の人数及び選抜方法は講座によって異なり、GPA及び入試の成績を基準にします。

講座		人数	選抜方法
都市環境創成学講座 持続可能社会形成学講座		5名程度	GPA3.00以上のGPA順位、 又は入試成績上位者
農村環境創成学 講座	一般入試	合格者数の1/4程度	GPA2.80以上、又は入試成 績上位5位以内
	推薦入試	制限なし	GPA2.80以上
人間生態学講座		3名程度	GPAに基づく順位上位者
物質エネルギー学講座		合格者数の1/4程度	筆記試験免除者及び入試 成績上位者
環境生態学講座		合格者数の1/4程度	GPA3.00程度以上でGPA 順位上位者
生物機能化学講座		制限なし	GPA3.00以上及び入試成 績上位者
植物ストレス科学講座		合格者数の1/4程度	入試成績上位者
植物機能開発学講座		制限なし	GPA3.00程度以上
動物機能開発学講座		制限なし	GPA3.00程度以上

〔博士後期課程〕

コース生は、博士後期課程入学者選抜試験及び進学者選考試験の出願時に「コース履修希望届」を提出した方を対象に選抜します。コース生の選抜方法は講座によって異なり、入試の成績（研究業績）を基準にします。